



日新

荷日新 荷に日に新たに
 日日新 日々に新たに
 又日新 又日に新たなり
 出典「大学」

ゆめ にっしん

「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っている。

発行：誇りと夢・まちづくり日新広報部会
 文京5-1-8 日新公民館
 発行日：2012年12月20日

日新さんさんバス発車

まちづくり館外研修・岐阜県芥見地区へ



みなさん
ドンドン
乗って
下さいね



八幡町役場

平成22年4月、福井市「地域コミュニティバス運行支援事業」の説明会があり、5月から交通部会（牧田孝部会長）が発足。その後3年をかけて計画案作成や、アンケート調査など、福井市地域交通課と熱心に協議を重ねてきました。24年8月ようやく努力が実り、11月5日に「日新さんさんバス」の試行運行（2年間）が始まりました。

今年のまちづくり館外研修として、「みどりっこバス」を導入し、成果を上げている岐阜県芥見東・南地区コミュニティバス等運営協議会を訪れ、視察・研修しました。

1日平均180人の利用者があり、乗り降りのヘルパーもボランティアで活動しているとのこと。

清流が復活した
いがわ小径



午後は、錦繡の郡上八幡の
まち歩きを満喫。



紅葉の大乗寺



プロフィール

わがまち匠 東京からのたより



ピアニスト
竹内真紀さん (34)
東京在住 乾徳2出身

私の中の不変のもの

◆東京藝術大学音楽学部器楽科卒業、同大学院修了。笠間春子女史、植田克己氏に師事。◆2005年より英国王立音楽院にて研鑽を積む。ピアノをイアン・ファウンテン、室内楽をマイケル・デュセック両氏に師事。◆2006年 St. Martin in the Field (ロンドン) にてソロリサイタルを開催。同年アンドラ公国国際ピアノコンクールにおいて最優秀スペイン音楽賞を受賞。◆2007年の修了時、最優秀のディプロマ Dip RAM を取得。◆2007年に帰国後は、新日本フィルハーモニー、オーケストラ・アンサンブル金沢、セントラル愛知交響楽団等と共演。◆現在、東京芸術大学ピアノ科 非常勤講師。

先日、大親友 Agata が私に会いに日本にやってきた。ポーランド人の彼女は、私のドラマチックなロンドン留学生活を共に生き、笑い、戦った、生涯の友。会えなかった5年間を埋め尽くして楽しい1週間を過ごし、お別れの直前に彼女は「日本で過ごしたことで、Makiの事が更に理解できた気がする」と、予想しなかったことを口にした。「穏やかで敬意にあふれるこの国に生まれたMakiにとって、ロンドン生活は時には辛いものだったんだね」と。自分の中に刻み込まれ、染められた、消すことのできないものがあるのだと自覚した。



今、日本でピアノに触れる生活の中で、福井のことを思い出す時はたくさんある。暖かくなる、というよりも雪の中で心が少しだけピンクに染まる春。夏でも冷たい澄み切った水の感触、蛍の光。長い冬に向かう秋の、独特の切なさ。灰色の空と荒れる日本海。記憶しているそれらは、すべて私の大好きなものだし、大切なもの。

東京に出てきて15年。しかし福井で染められた、消すことのできない想いをたくさん含んだ音で、今日も私はピアノを弾く。

福井県内の子どもたちにクラシック音楽を届ける「ふるさとふれあい2009スクールコンサート」での演奏風景
 鯖江 河和田小会場 福井新聞より



☆夏に帰福中の竹内さんにお会いする機会があり、このコーナーに登場していただくことになりました。福井でのコンサートが開かれた時には、母校（日新小・藤島中）や地区の皆さんも竹内さんの素敵な演奏が聴けるといいですね。（村上）

日新春秋

暑さが長く続いたためか、今年の秋はいつもより短く感じられました。秋の草花や紅葉はいつものように日々のささやかな楽しみを味わわせてくれました。

日々のささやかな「たのしみ」といえば、今年は、独楽吟で有名な橋際観の生誕200年にあたります。

先日、ロバート・キャンベル氏の橋際観に関する講演を聴く機会に恵まれました。国学者であった橋際観は万葉集を深く研究し、独楽吟はその集大成というべきものであったこと、また彼が明治時代の文豪からも高く評価されていたことなどを知り感銘を受け「橋際観全歌集」を早速買い求めました。

そういえば、県立図書館には橋際観の遺稿集（志濃夫廼舎歌集）の初版本があり、それには与謝野鉄幹と晶子が所有者であったことを示す落款が縦に並んで押されています。鉄幹の添え書きもあり、大切にしていた歌集だったことが窺えます。

独楽吟は、一人で楽しむというタイトルながら、生きるこの意味をテーマとし、家族や人々との温かな絆を感じる歌が数多くあり心がなごみます。だからこそ、今なお多くの人々に愛され輝きを失わないのでしょう。

「たのしみは 妻子むつまじく
 うちつどひ 頭ならべて
 物をくふ時」

上里第4自治会長
吉田智





西内家 乾徳
我が家は5人家族で楽しく過ごしています。長女優衣は11月で1歳半になりました。ジジイっ子です。♡



宝田家 文里
長女は藤中2年生。バスケ部で頑張るバスケ少女です。長男は日新小6年生。日新FCで頑張るサッカー少年です。父と母は何を頑張るか・・・、やっぱり仕事かな。子ども達に負けないように頑張ります!!

誇りと夢・わがまち創造事業

環境部会 一生きもの観察会

「うお! つかまえた」「これ ヤゴけー」あちこちから歓声が上がります。興味津々の時間が瞬く間に過ぎました。9月30日に実施した、平成24年度の環境学習会『生きもの観察会』の様です。



ご存知のように、まちづくり日新では、毎月1回(冬期を除く)地域の皆さんの協力をいただきながら底喰川を中心に定例・一斉清掃を行っています。そこで今年度は、底喰川の状態を“生きもの”により観察しようと企画したものです。当日の参加者はスタッフを含め20名とやや少人数でしたが、それだけに講師の藤丸陽子氏の説明も十分聞き取ることができ、内容の濃い学習会でした。

観察の結果、川のきれい度は5段階の内3番目ということ、また多くの生きものもすんでいて皆さんが頑張っていたらいい効果が出ているとのことでした。

まちづくり日新では、さらに住みよいまち、美しいまちづくりを目指して頑張りたいと思います。地域の皆さんのご協力をお願いします。

なお、参加者には生きもの写真のパウチして配布しました。

また、公民館大会議室にも額にして展示しています。是非ご覧下さい。前川栄寛



藤丸先生の説明で生きもの分類

文化部会 一秋の七草観賞とお月見団子づくり

9/8(土)午後1:30よりはじまる。まず秋の七草の紹介と説明があり、団子づくりにとりかかる。子どもたちも精一杯がんばって団子づくりに参加していっぱい出来上がりました。そのあと団子を食べながら紙芝居を2演題行いました。3時半には無事終了しました。



一底喰川ウォーキング

10/15(土)午後2時より底喰川ウォーキングの受付開始。3時締切で約170名、ほぼ前年と同数ぐらいが集まり、公民館駐車場で出発セレモニーを行いました。

3時半過ぎには戻ってくる早い人もいましたが、4時には全員戻りつき、さっそくおろしそばを食べながらおたのみ抽選会に参加。そば打ち愛好会のメンバーに文化部会の会員も加わりそばの窓口が賑わいました。最後に線香花火のナイヤガラを滝で打ち上げ式を行って終わりました。好天にも恵まれ、明るいうちに無事終了することができました。山崎豊



底喰川 その11

一底喰川清掃はこうして始まった

以前、この15号「底喰川その2 -ウオークで底喰川を見る-」で、あまりにも汚い底喰川。道路を歩いて臭う底喰川と記した。

当時、底喰川は乾徳橋のところまで「川幅広く」改修されていたが、その上手は未改修で川幅は狭く流れは速かった。上手で捨てられた多くのポイ捨てごみは、流れがゆるくなった乾徳橋下手の底の浅い川中に運び込まれて、それが永い年月を経てやがて汚泥化していった。そうしていたところに“中洲”も造った。

中洲はいかんともしがたいが、ポイ捨てのごみの回収はわれわれで出来る、と「底喰川と美しい地域づくり」の1事業「底喰川クリーンアップ大作戦」になった。そしてこの活動は区民の力で、毎年3回、恒例事業に発展定着した。(西)

平成9年9月15日



乾徳橋上から底喰川を見る。ガイドは松井さん、吉田さん



水路の半分は汚泥が積もり「中島」

広報部会 iPad 体験教室

12/1(土)今話題のiPadってなに?タブレットの使い方ってどうするの?こんな疑問に答えようと体験教室が始まりました。



指でタッチするだけでゲームや読書、インターネットができるので、パソコンをしない人でも幼児でもすぐに使えてこれはすごい便利。

講師の高嶋公美子さんが「無料のアプリもいろいろありますよ」と紹介して下さい、早速「つみ猫」のゲームや写真をアルバムに作る体験などに夢中に入り込み、3時間半の教室もあっという間に過ぎてしまったようです。インターネットの環境が必要であること、機種や容量を選ぶこと、キャンペーンの内容によってはiPadを無料で入手できるなどの情報も話題になりました。

- ・Cloud: データを一時的に空間に保存する。
- ・Wi-Fiルーター: iPad用接続機
- ・リマインダー: 備忘録

聞きなれない用語が多く、理解できれば更に上級の使い方が無限に広がりそうです。

15名の方が参加しました。(友田)



講師の高嶋公美子さん

二人でもあそべるね

